

令和 2 年 6 月 29 日現在

機関番号：32690

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2019

課題番号：17K03486

研究課題名(和文)地震保険制度の再構築

研究課題名(英文) Reconstruction of Earthquake Insurance System

研究代表者

黒木 松男 (KUROKI, MATSUO)

創価大学・法務研究科・教授

研究者番号：40170112

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,200,000円

研究成果の概要(和文)：次の研究成果を出すことができた。第1に、研究論文の執筆公刊として、「熊本地震と地震保険の3つの課題」、「大規模自然災害とリスクファイナンス」、「Earthquake Commission Act の改正 - ニュージーランド・クライストチャーチ地震の衝撃 - 」の3本の論文がある。

第2に、2018年に日本保険学会のシンポで学会発表した。

第3に、社会的啓もう活動をして、創価大学において、「巨大地震等への備えは大丈夫ですか」とのテーマで講演、2018年の保険毎日新聞で「マンション損害と地震保険の課題」というテーマのインタビュー記事が掲載、NHKのあさイチという番組で、水害保険について解説(ビデオ出演)した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

世界有数の地震大国である日本において、地震保険制度はどうあるべきかを検討考察することは、日本国民の生命を守り、生活基盤である住宅の再建に向けて大きな課題になっている。2011年の破局的な東日本大震災及び2016年の熊本地震後の住宅再建に向けた取り組みの状況を考えると、いかに我が国の地震保険制度による地震保険金の支払が大きな助けになっていることが疑いないことである。それとともに、地震保険制度の更なる改善が、求められている。不十分な部分を改善し、将来の大規模自然災害に備えることは、日本国家の存立にとって重要課題になっている。地震保険制度の不十分な部分を補うための民間損保の貢献も見逃せない。

研究成果の概要(英文)：I wrote three articles. First article is on the theme of the three problems of Earthquake Insurance about the KUMSMOTO earthquake(Soka Law Review), Second article is on the theme of Risk Finance relating to Catastrophic Natural Disaster(645 of Journal of Insurance Science), Third article is on the theme of 2019 Amendment of Earthquake Commission Act-Cristchurch Earthquake Impact(647 of Journal of Insurance Science). In 2018 I presented a paper at the 2018 General Meeting of The Japanese Society of Insurance Science. I gave a lecture on the Prepare of Catastrophic Earthquake and Flood Insurance at Soka University and NHK.

研究分野：民事法学

キーワード：地震保険制度 東日本大震災 熊本地震 水害保険

1．研究開始当初の背景

(1) 平成 23 年 (2011 年) 3 月 11 日に発生した東日本大震災によって、地震保険制度が不十分なものであり、その改善が必要であった。地震保険制度の骨格をなす、付保制限、最高地震保険金額、再保険スキーム、総支払地震保険金限度額をどのように見直すかが、議論の的になった。

(2) その見直しのもう一つの焦点は、マンション被害を受けた仙台市のマンションの復興問題になった。

2．研究の目的

(1) 地震保険制度を見直すために財務省に設置された「地震保険制度に関するプロジェクトチーム」に対する提言をすること。

(2) 研究の最中である平成 28 年 (2016 年) 4 月 14 日に熊本地震が発生し、同地震によるマンション被害が顕著であったことから、マンション型地震保険制度の創設の必要性を社会に発信すること。

3．研究の方法

(1) 東日本大震災の復興状況の実態調査、熊本地震の被害の現地調査

(2) 海外の調査研究、特に、アメリカカリフォルニア州における CEA (California Earthquake Authority) の諸課題、ニュージーランドの EC (Earthquake Commission) の改善課題の研究

4．研究成果

(1) 研究論文

「熊本地震と地震保険の 3 つの課題」(創価法学 48 巻 2 号、3 頁～19 頁、2018 年 11 月 30 日)、「大規模自然災害に対する個人のリスクファイナンス」(保険学雑誌 645 号、23 頁～39 頁、2019 年 6 月)、「Earthquake Commission Act の改正 - ニュージーランド・クライストチャーチ地震の衝撃 - 」(保険学雑誌 647 号、27 頁～42 頁、2019 年 12 月) の 3 本の論文がある。

の「熊本地震と地震保険の 3 つの課題」は、日本マンション学会の熊本地震調査委員会の一員として 2 回にわたり被災後の熊本市内のマンションの再建の過程や問題を取り上げ、地震保険の在り方、特にマンションに特化した地震保険の再構築を主張したものである。の「大規模自然災害に対する個人のリスクファイナンス」は、地震に限らず、台風被害や豪雨災害などの大きな自然災害があった場合の被災後の復興について保険はどのような貢献ができるかを考察したものである。また、大規模自然災害の頻発に対し、民間の損害保険会社がどのような魅力的な自然災害保険を世の中に提供しているか、その現状と課題を検討

した論文である。この論文は、東日本大震災や熊本地震の調査研究を通して得られた知見を披歴するものになっている。 の「Earthquake Commission Act の改正 - ニュージーランド・クライストチャーチ地震の衝撃 - 」は、2度にわたる地震後のクライストチャーチへの訪問調査を通して、入手できた資料や本を元にして、ニュージーランドがこの地震によっていかに苦しい状況を経験したかをレポートとし、ニュージーランドの地震保険制度がどのような変革を遂げたかを報告している。

(2) 日本保険学会のシンポジウムでの発表

2018年に日本保険学会のシンポジウム・共通論題「大規模自然災害とリスクファイナンス」のテーマで、パネラーとして、個人のリスクファイナンスの現状と課題を学会発表した。日本保険学会における同様のテーマでの学会発表は3回目になったが、科研費の助成を受けて継続研究をしてきたことで蓄積できた研究成果を発表することができた。

(3) 社会啓もう活動

自然災害と保険に関して、社会的啓もう活動として、創価大学の夏に開催される夏季大学講座において、「巨大地震等への備えは大丈夫ですか」とのテーマで講演をした。120名余りの受講者に対し講演を実施した。2018年の保険毎日新聞の記者のインタビューを受けて、「マンション損害と地震保険の課題」というテーマで記事が掲載された。日本保険学会の小職の発表を聞いた記者の方からの依頼で行ったものである。さらに、NHKのあさイチという番組で、2019年8月29日に、多くの水害事故が頻発したことから、水害保険について解説（ビデオ出演）した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 2件）

| | |
|---------------------------------------|--------------------|
| 1. 著者名 黒木松男 | 4. 巻 48巻2号 |
| 2. 論文標題 熊本地震と地震保険の3つの課題 | 5. 発行年 2018年 |
| 3. 雑誌名 創価法学 | 6. 最初と最後の頁 3-19 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 無 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |

| | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 著者名 黒木松男 | 4. 巻 645号 |
| 2. 論文標題 大規模自然災害に対する個人のリスクファイナンス | 5. 発行年 2019年 |
| 3. 雑誌名 保険学雑誌 | 6. 最初と最後の頁 14-31 |
| 掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし | 査読の有無 有 |
| オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である） | 国際共著 - |

〔学会発表〕 計1件（うち招待講演 0件/うち国際学会 0件）

| |
|------------------------------------|
| 1. 発表者名 黒木松男 |
| 2. 発表標題 大規模自然災害に対する個人のリスクファイナンス |
| 3. 学会等名 日本保険学会 |
| 4. 発表年 2018年 |

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

6. 研究組織

| 氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号） | 所属研究機関・部局・職 （機関番号） | 備考 |
|---------------------------|-----------------------|----|
|---------------------------|-----------------------|----|